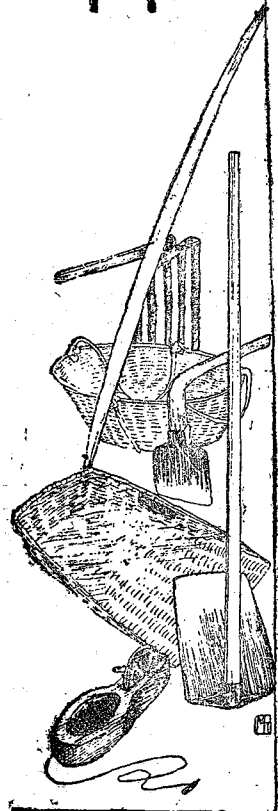


# 史料



## 足利市に於ける街衢及

### 市街改正條例並改正路線規定

足利市に於ける道路に關する土木史料として古來のものに

就ては不詳なるも、町制當時に於て明治四十四年三月足利町

街衢改正條例を設定し、該條例に據り道路の新設及改築擴築

等の工事を執行し、逐年市街の改正を爲し來りしが大正十年

市制施行に付き市會の決議を経て同年四月市街改正條例及市

街改正路線規定を設け、以來引續き市街の改善に努めつゝあ

りと。依つて茲に各條例及規定を列記し讀者諸彦の參考に供

せんとす。

#### ○足利市街衢改正條例

##### 第一章 總 則

第一條 本町ノ現在並ニ將來ノ發展上必要ニ應シ街衢ノ改正  
ヲナスモノトス

第二條 街衢ノ改正ハ起工線及豫定線ニ區分シ起工線ハ直ニ  
着手シ其竣功後豫定線中ヨリ更ニ起工線ヲ選定シ順次ニ執  
行シテ之カ完成ヲ期スルモノトス

第三條 街衢改正ノ爲メ街衢改正委員ヲ置ク

第二章 事業

第四條 毎年町費ノ程度ニ應シ町會ノ議決ヲ以テ豫算ヲ定メ

爲道敷ニ要スル土地ハ協定ヲ以テ買收シ所在物件ニ就テハ買收或ハ移轉料ヲ支辨スルコトアルヘシト雖モ所有者ニ於テ承諾ヲ與ヘサル時ハ土地收用法ニ準據スルモノトス

費ニ充ツルモノトス

本橋は神戸

◎神戸市改良道路第八號線ノ一新川橋

前項ノ豫算ハ一般經費豫算中ニ編スルモノトス

市出在家町に在リ請負人大

第五條 街衢改正委員會ニ於テ調査シタル設計ハ町會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ムルモノトス

林組に依リ大

正十三年一月

着工同十四年

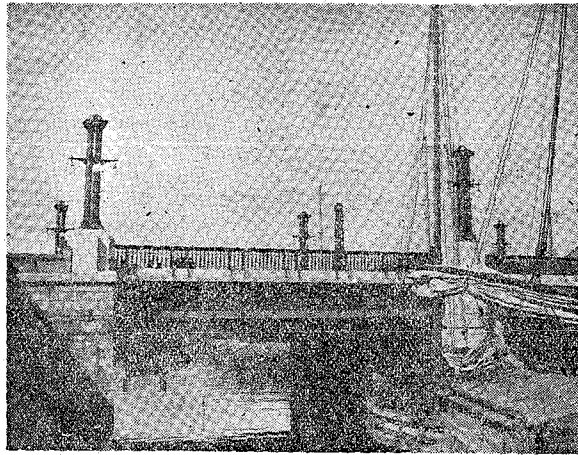
二月竣功せる

道路、軌道併

用橋にして工

事概要次の如し。

し。



(橋材及形式)

鋼桁橋橋長百

六尺、經間五

十尺二連、幅

員七十八尺、

新川 橋 橋面面積二

百三十一坪、

總工事費二十

六萬七千五百

五十九圓一面

坪當約千百五

第三章 委員ノ組織並權限

第八條 街衢改正委員ハ町村制第六十

九條ニ依リ臨時委員トス

前項委員ハ町會ニ於テ公民中選舉權ヲ有スルモノヨリ選舉ス

第九條 委員中委員辭任、死亡、其他失格ノ爲メ欠員ヲ生シタル時ハ補選

ス

第九條

委員中委員

辭任、死亡、其他

失格ノ爲メ欠員ヲ

生シタル時ハ補選

ス

第九條

委員中委員

辭任、死亡、其他

失格ノ爲メ欠員ヲ

生シタル時ハ補選

ス

第九條

委員中委員

辭任、死亡、其他

失格ノ爲メ欠員ヲ

生シタル時ハ補選

ス

第七條 街衢改正ノ

スルモノトス

第三章 委員ノ

組織並權限

第十條 市街改正委

員ハ市制第八十三

條ニ依リ臨時委員

トス

前項委員ハ市會ニ

於テ公民中選舉權

ヲ有スル者ヨリ選

舉スルモノトシ其

任期ハ四年トス

第十二條 委員中辭

任死亡其ノ他ノ失

格ノ爲メ缺員ヲ生

シタルトキハ直チ

ニ補缺選舉ヲ行フ

ヘシ但シ補缺員ハ前任者ノ殘任期間トス

第十二條 市街改正委員會ヲ組織シ委員十名ヲ以テ之ニ充ツ

十八圓(上部

構造) 橋體工

事主體材料種

鋼鐵、橋面車

軌道は切石鋪

裝歩道はプロ

ツクコンクリ

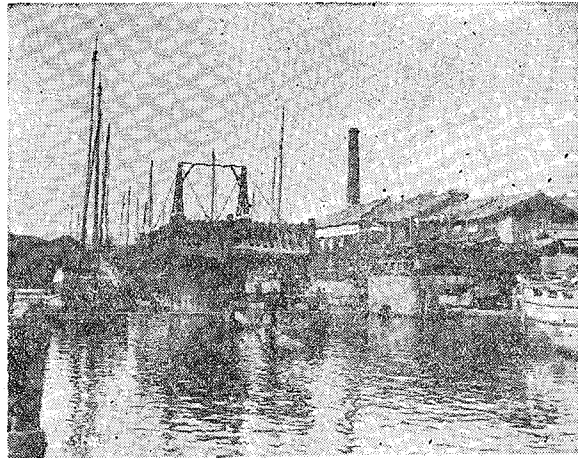
ート、燈柱及

高欄工事は切

石

(下部構造)橋

と同様にして同所地質は砂利及砂なり。



同 橋 舊 形

の大き長九十

七尺五寸、巾

三十一尺二寸

表面石垣内部

鐵筋混凝土、

基礎工は栗石

混凝土杭打工

橋脚の大き長

百二尺三寸、

敷巾二十六尺

基礎工は橋臺

第十三條 委員會ノ

會長ハ市長トス市

長事故アルトキハ

助役ヲ以テ之ニ充

ツ

第十四條 委員會ハ

必要アル毎ニ市長

之ヲ招集スルモノ

トス

第十五條 委員會ハ

定員半數以上出席

スルニアラサレハ

會議ヲ開クコトヲ

得ス但同一議事ニ

付招集再回ニ及フ

トキハ此限リニア

ラス

第十六條 委員會ノ

議事ハ出席委員過半數ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナル

トキハ會長之ヲ決スルモノトス

第十七條 委員會ハ市街改正ノ設計及毎年度ニ於テ執行スヘ

キ事業其他ノ設計ニ關シ必要ナル事項ヲ議定シ及工學執行

ニ區分シ起工線ハ直子ニ着手シ其ノ竣功後豫定線中ヨリ更ニ起工線ヲ選定シ順次ニ執行シテ之カ完成ヲ期スルモノト

ノ監督ヲナスモノトス

第十八條 本條例ハ

公布ノ日ヨリ施行ス

○足利市街

改正條例

第一章

總 則

第一條 本市ノ現在

並ニ將來ノ發展上

必要ニ應シ市街ノ

改正ヲナスモノト

ス

第二條 市街ノ改正

ハ起工線及豫定線

◎神戸市改良道路第八號線ノ二

本道路は請

負人阪神工業

に依り大正十

一年七月着工

同十二年四月

竣功せるもの

にして工事明

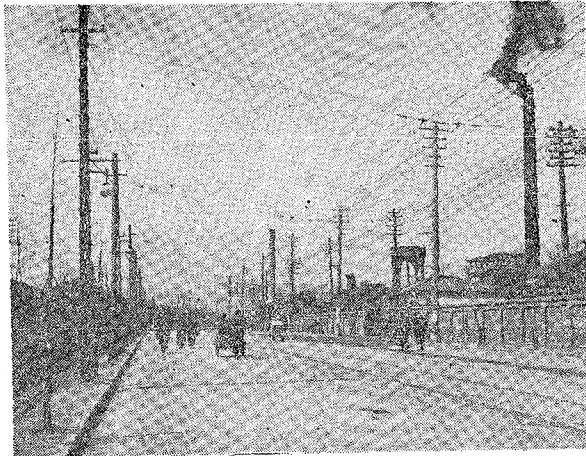
細次の如し

請負金額ハ

萬八千二百三

圓、道路延長

九百二十一間



第八號線ノ二

五、一間當金

額九十五圓七

十二錢、步道

面積一萬五百

九十七坪、同

面積當金額八

圓三十二錢三

厘幅員十一間

五分、路面築

造工事種別及

單位價は切盛

殘土一立坪十

第三條 市街改正ノ

爲メ市街改正委員

ヲ置ク

第二章

事業

第四條 毎年市費ノ

程度ニ應シ豫算ヲ

定メ市會ノ議決ヲ

以テ其年度ノ市街

改正費ニ充ツルモ

ノトス

前項ノ豫算ハ一般

經費豫算中ニ編入

スルモノトス

第五條 市街改正委

員會ニ於テ調査シ

タル設計ハ市會ノ

議決ヲ經テ之ヲ定

ムルモノトス

第六條 豫知スヘカ

ラサル事情ニ依リ

既定事業ノ變更ヲ

要スルトキハ市會

ノ議決ヲ經テ之ヲ

定ムルモノトス

第七條 市會ニ於テ

市街改正ニ關スル

路線設計ヲ議決シ

タルトキハ告示ス

ルモノトス

第八條 市街改正ノ

爲メ道敷ニ要スル

土地ハ協定ヲ以テ

買收シ所在物件ニ

付テハ買收又ハ移

轉料ヲ支辨スルコトアルヘシト雖モ所有者ニ於テ承諾ヲ與

充ツルモノトス

ヘタルトキハ土地收用法ニ準據スルモノトス

第十二條 委員會ハ必要アル毎ニ町長之ヲ招集スルモノトス

三圓九十九錢

二厘、甲空積

石垣一面坪十

九圓三十五錢

一厘、同練積

石垣一面坪當

十七圓八十四

錢九厘、一、

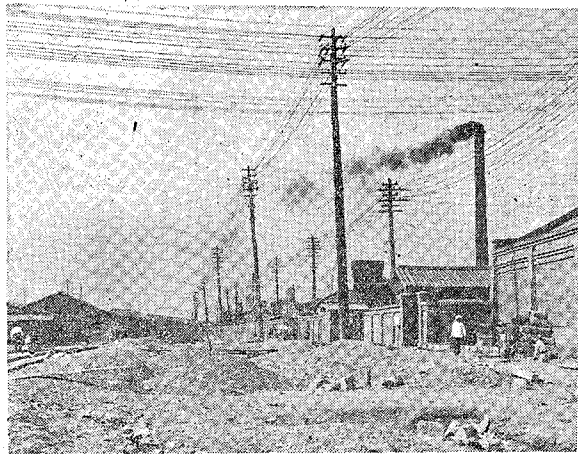
三、六、コンク

リート一立坪

百二十一圓四

十五錢五厘、

錢、横斷溝渠一ヶ所當九百四十八圓八十錢、横斷道路一ヶ所當七十七圓八錢。



同 所 工 事 中 の 景

一、二、四、

コンクリート

一立坪百四十

八圓十二錢一

厘、砂利敷一

面坪二圓六十

九錢八厘、全

路面工事一面

坪二圓六十二

錢、全溝渠工

事一間當六

十七圓八十四

第九條 市街改正路

線内ニ新ニ家屋其

他工作物ヲ建設シ

若クハ既設物件ノ

改築増築ヲ爲サン

トスルトキハ市長

ニ申告スヘシ

第十條 街衢改正委

員會ヲ組織シ委員

十名ヲ以テ之ニ充

ツ

第十一條 委員會ノ

會長ハ町長トス町

長事故アルトキハ

助役之ヲ代理シ町

長助役共ニ事故ア

ルトキハ委員中ノ

年長者ヲ以テ之ニ

第十三條 委員會ハ

定員半數以上出席

スルニアラサレハ

會議ヲ開クコトヲ

得ス

但シ同一ノ議事ニ

付招集再回ニ及フ

トキハ此限ニアラ

ズ

第十四條 委員會ノ

議事ハ出席委員過

半數ノ同意ヲ以テ

之ヲ決ス可否同數

ナルトキハ會長之

ヲ決スルモノトス

第十五條 委員會ハ

街衢改正ノ設計及

毎年度ニ於テ執行

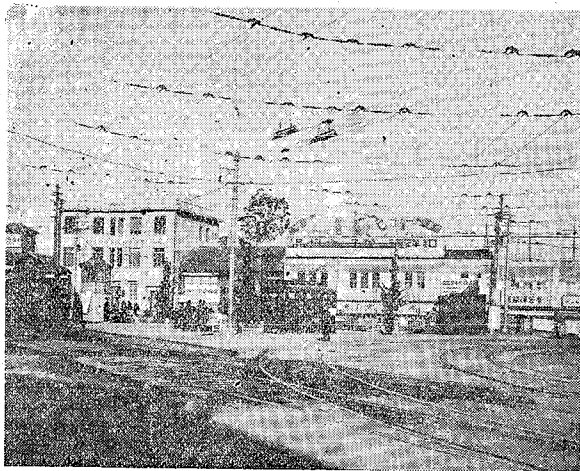
スヘキ事業其他ノ

設計ニ關シ必要ナ

◎神戸市改良道路第六號線

本道路は請負人開出鹿造に依り大正十一年二月着工、同七月竣功せるものにして  
工事明細次の  
如し

請負金額三  
萬六千九圓、  
路線延長二百  
七十九間五、  
一間當金額百  
二十八圓八十  
四錢、步車道  
面積三千四百  
九十四坪、同  
面坪當金額十  
圓三十錢八厘  
幅員十二間半  
路面築造工事  
種別及單位價  
は、切盛殘土  
一位坪十七圓  
四厘、横斷溝渠一ヶ所當千七百六十五圓二十五錢、横斷道路一ヶ所當百三十圓二十  
八錢。



第六號線終點大開通廣場

甲空積石垣一  
面坪當は第五  
號線に等し  
一、三、六、  
コンクリート  
一立坪當百十  
七圓、一、二、  
四、コンクリ  
ート一立坪當  
百三十七圓、  
砂利敷一面坪  
三圓九錢五  
厘、全路面工  
事一面坪當  
十六圓八錢五  
厘、全溝渠工  
事一間當七十  
四圓八十四錢

ル事項ヲ議定シ及  
工事執行ノ監督ヲ  
ナスモノトス

第十六條 委員會中ニ

幹事三名ヲ置キ常  
務ヲ相當セシム

附 則

第十七條 本條例ハ

公布ノ日ヨリ施行  
ス

○市街改正  
路線規定

(大正十二年  
十一月十三日  
議決)

(同) 年

同月十四日  
公布)

第一條 市街改正ノ

將來ニ於ケル路線  
ヲ定ムルコト左ノ  
如シ

起 工 線

一 井草町ヨリ通

二、三丁目北

裏通ヲ通四丁

目織姫神社下

迄道巾四間ニ

擴張ス

二 通四丁目北裏

織姫神社下ヨ

リ用水路ニ沿

ヒ通五、六、

七丁目ヲ經テ

綠町公園入口

迄道巾四間ニ

擴張並ニ新設

ス

三 家富町饒阿寺

裏通ヲ東へ舊

熊野神社前ヲ

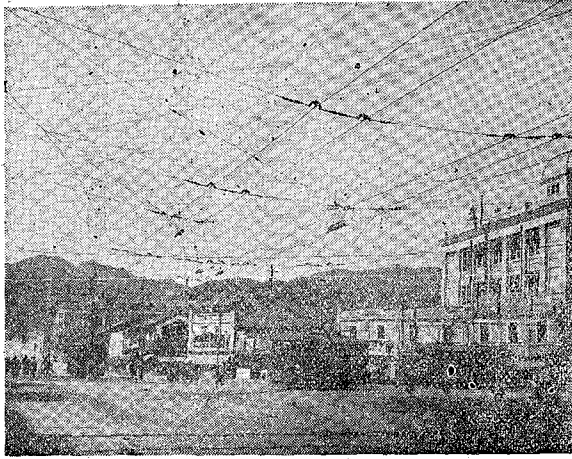
經テ大町耕地

整理ノ新道へ

◎神戸市改良道路第三號線

本道路は請負人開出塵造に依り大正十年六月着工同十一年二月竣工せるものにして工事明細次の如し

- 請負金額四萬六千二百九圓、路線延長三百六十六間四、一間當金額百二十六圓十錢、歩車道面積四千五百八十坪、同面坪當金額十圓八錢九厘、幅當四十五圓六十五錢他は皆一號線に同じ。



楠 公 社 前 十 字 街

- 員十二間、路面築造工事種別及單位價は、砂利敷一坪當二圓二十八錢八厘、全路面工事費一坪四圓二錢五厘、全溝渠工事費一間當三十圓三十錢三厘、横斷道路一ヶ所

直線ニ道巾五間ニ擴張並ニ新設ス

四 伊勢町伊勢宮ヲ經足利驛入口道路迄道巾四間ニ擴張並ニ新設ス

五 通四丁目北裏織姫神社下ヨリ用水路ニ沿ヒ巴町迄道巾四間ニ擴張ス

六 助戸二丁目南側館林街道ヨリ東へ約六十間ノ所へ道巾五間ヲ新設ス

七 豫定線 永樂町及通一

丁目南裏通ヲ通三丁目仲橋通迄直線トシ道巾四間ニ擴張ス

一八 表通南側通六丁目綠町界(原田定助)前ヲ南へ榮町稻荷神社西傍及藥師堂前ヲ經テ堤塘迄道巾四間ニ擴張ニ新設ス

八 通一丁目二丁目界新道ヲ直線トシ道巾五間ニ改築ス

一九 二重坂舊道ヨリ通七丁目南裏通ヲ東へ綠町表町迄道巾四間ニ擴張ス

一〇 通四丁目表通北側警察署東ヲ北裏通用水路迄道巾四間新設ス

二〇 通六丁目野村米藏脇ヨリ榮町通ヲ道巾四間トシ直線ニ整理ス

一一 通四丁目渡良瀬橋通東側中央ヨリ東へ岩根病院前縣道迄道巾四間ヲ新設ス

廿一 榮町一丁目藥師大門ヨリ綠町一丁目表通ヲ經テ用水路通迄道巾四間ヲ新設ス

一二 通三丁目電燈會社西通ヲ直線ニ渡良瀬川堤塘迄道巾四間ニ擴張並ニ新設ス

廿二 御影寺東側新道ヨリ南へ伊勢町伊勢宮前ヲ經テ堤塘迄道巾五間ヲ新設ス

一三 井草町通並ニ南へ仲橋通ヲ道巾八間トシ防火路トス

廿三 鑲阿寺東門前ヨリ東へ大町傳染病院ノ北ヲ經テ袋川迄道巾四間ニ擴張並ニ新設ス

一四 通五丁目高德寺大門向南側表通ヨリ南裏通迄道巾四間ヲ新設ス

廿四 丸山町東新道ヲ直線ニ伊勢町交番東側ヲ經テ鐵道構内迄道巾五間ヲ新設ス

一五 織物西市場表口ヨリ南へ參千四百十九番(中島隅治)前ヲ經テ堤塘迄道巾四間ニ擴張並ニ新設ス

廿五 鑲阿寺西門前ヨリ西へ雪輪町、巴町ヲ經テ法立寺入口迄道巾四間ニ擴張並ニ新設ス

一六 通五丁目通六丁目界表通北側ヨリ北裏通迄道巾四間ニ擴張ス

廿六 鑲阿寺裏通東北ノ角ヨリ柳原通迄道巾四間ヲ新設ス

一七 綠町參千參百參拾五番(堀越長三郎居宅)北傍ヨリ稻荷神社前ヲ經テ通五丁目舊太田通迄道巾四間ニ擴張並ニ新設ス

廿七 尋常高等小學校東南ノ隅ヨリ南へ鑲阿寺裏門迄道巾五間ヲ新設ス



廿八 鑊阿寺裏通西北ノ角ヨリ西へ高福寺傍ヲ經テ巴町用

水路迄道巾四間ニ擴張並ニ新設ス

廿九 伊勢町線路南縣道曲リ角(二百四十五番地齋藤トミ

所有前)ヨリ東へ館林通迄道巾五間ヲ新設ス

三〇 市役所前ヨリ東へ裁判所前迄道巾五間ニ擴張ス

世一 巴町二千五百三十八番(中村喜十郎所有)脇ヨリ雪

輪町中通迄道巾五間ヲ擴張ス

卅二 尋常高等小學校東北ノ隅ヨリ東へ旭町八間道路迄道

巾五間ヲ新設ス

卅三 助戸三丁目縣道北側(植木豊脇)ヨリ定年寺下及東

山町ヲ經テ新山町迄道巾五間ニ擴張ス

卅四 助戸大橋町火ノ見下ヨリ(定年寺坂)助戸三丁目定

年寺前迄道巾二間ニ擴張ス

卅五 助戸三丁目城ノ腰三百八十二番(内藤清一)前ヨリ

東へ山川界迄道巾五間ニ擴張並ニ新設ス

卅六 助戸仲町ヨリ東山ニ通スル村社ノ西南隅ヨリ助戸三

丁目千七百八十九番地(田部井ヨネ所有地)迄道巾

五間ニ擴張シ並ニ同所ヨリ助戸大橋町千九百五十七

番(長島房吉所有地)ニ至リ耕地整理道路ニ接續セ

シムルモノトス

卅七 通二丁目三丁目入會舊陣屋大間を北へ市役所前通迄

道巾五間に擴張ス

卅八 通三丁目二千七百五十番地(小沼仁兵衛所有地)西

側ヲ表通ヨリ南裏通迄並同北側(二千六百二十五番、

二千六百二十六番、小沼仁兵衛、前澤大吉所有地)

間ヲ北裏通迄道巾四間ヲ新設ス

卅九 榮町一丁目川久保通三千四百二十五番(岡一太郎所

有地)西通ヲ綠町ヨリ通五丁目ニ至ル道路迄道巾三

間ニ擴張ス

四〇 丸山町中通新通ヲ裁判所裏迄道巾五間ヲ新設ス

四一 助戸三丁目縣道南側四百二十番(植木豊所有地)ヨ

リ南へ線路

四二 伊勢町表通縣道ヨリ瓦斯會社ノ裏ヲ經テ渡良瀬川ノ

堤塘ニ至ル道路ヲ道巾五間ニ擴張ス

四三 伊勢町北郷道路百四十二番ノ二(堀越モリ所有地)

先ヨリ耕地整理道路迄道巾五間ヲ新設ス

四四 助戸仲町表通り北側四百七十四番ノ二(荒井元吉所

有地)地先ヨリ東山町雷電社前迄道巾五間ヲ新設ス

四五 助戸地内新道ハ六號線ニ併行シ南北ニ六線ヲ縣道以

南ハ鐵道ニ併行シ東西ニ三線ヲ縣道以北ハ三十五線

ニ併行シ東西ニ四線ヲ各約五十間ツ、ノ距離ヲ保チ  
道巾五間ヲ新設ス

四六 助戸大橋町耕地整理第三號線八間道路終點ヨリ助戸

東山町通り迄道巾八間ヲ新設ス

四七 西宮町二千八百二十九番（和田倉吉所有地）地先ヨ

リ北へ二千八百九十番（坂田竹次郎所有地）地先迄  
道巾三間ニ擴張ス

四八 西宮町長林寺大門ヨリ本城三丁目徳正寺北裏ヲ經テ

耕地整理三號線八間道路ニ連絡スル道巾三間ヲ新設  
ス

四九 西宮町二千八百四十四番（須永勇藏所有地）ヨリ西

へ三千八十四番（川島藤左衛門所有地）地先迄道巾  
三間ヲ新設ス

五〇 通三丁目表通北側二千六百四番（大山岩次郎東側）

ヨリ北へ市役所前通迄巾四間ヲ新設ス

第二條 本路線中起工線ハ市長ニ於テ毎年度執行スヘキ部分

ヲ定メ委員會ノ議決ヲ經テ當該年度ノ豫算ニ掲上スルモノ  
トス

第三條 地主又ハ各町ニ於テ土地若クハ經費ヲ寄附シ事業ノ

急施ヲ希望スルトキハ委員會ニ於テ之ヲ調査シ市會ノ議決

ヲ經テ執行スルコトヲ得

第四條 地元各町ノ希望又ハ市長委員會等ノ意見ニ依リ新ニ

豫定線ヲ定メ若クハ豫定線ヲ起工線トシ又ハ巾員變更ノ必

要アルトキハ委員會ノ調査ヲ經市會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 毎年度ニ於テ施行スヘキ事業ノ設計數地ノ買收並ニ

移轉料ノ價格等ハ委員會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

○大正十四年度北海道地方費豫算の經常收入金九百四十  
九萬八千九百九十九圓の内道路關係のものは

車 稅	二六〇、五九二	自轉車稅	一六〇、八〇一
自動車稅	六、四五九	電 柱 稅	三九、三四九
道路占用料	一〇、〇〇〇		
計	四七七、二〇一		

○同歲出中土木費ハ金百貳萬千四百四拾圓で其内道路關

係諸費は

道 路 費	二九一、二六六	橋 梁 費	二七七、〇六五
渡船場費	三、七〇二	橋 柱 費	二、六三一
計	六六七、六六七		

當局者と

泥田道路

東京市會議員

(中に

お裁きの

身も這入つて)

は残額金二萬七千圓の洋行費を



セシめんために凡ての

市政をホツボリ出して

醜い鬭争をこれ専

業とやつて居る。

